

# 議会だより入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN No. 205

2023年4月27日

3月  
定例会

じゅわ〜と  
にゅうぜん

## フラワーロード(東五十里)

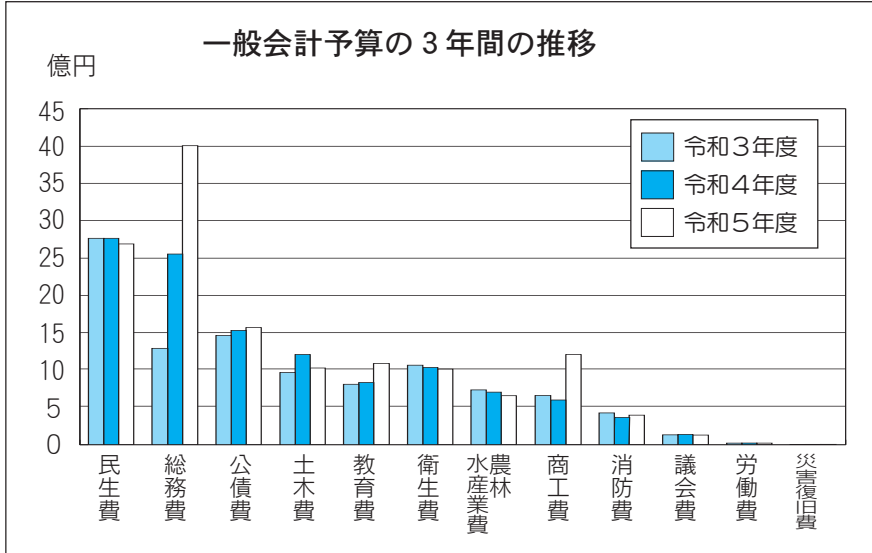
### 主な内容

- 新庁舎建設に向け過去最大の予算! ... 2P
- 常任委員会レポート ... 6P
- 代表・一般質問(6議員) ... 9P
- 令和5年度の子育て支援事業 ... 15P



令和5年度  
予算

# 新庁舎建設に向け 過去最大の予算!



## 新年度予算の特徴

3月定例会は、3日から23日までの21日間開会し、町長から提案された令和5年度の一般会計予算と特別会計予算5件、令和4年度補正予算6件、令和4年度一般会計補正予算の専決処分事項の承認1件、条例の一部改正など議案14件のほか、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。また、入善町副町長の選任について同意した。陳情2件については不採択とした。さらに下山水組合議会議員および新川地域消防組合議会議員の選挙を行った。

一般会計 136億7020万円  
特別会計 45億5470万円（5会計）

令和5年度の一般会計予算は、前年度当初予算と比較して17・1%の増となり、役場新庁舎整備に係る事業費や合併70周年記念事業などを盛り込んだ過去最大の予算となった。

一般会計予算は、「ストップ人口減少」の実現に向けた3つの柱に関する事業の充実、重点化を図っている。

### ストップ人口減少！さらなる深化 輝く未来への投資予算

#### (1) 子どもを産み育てやすい 環境づくりによる「出生数の増」

・身近なところで安心して出産できるよう町内産婦人科医院で出産された町内在住者に10万円、町外在住者に5万円の出産奨励金を支給する。 1275万円  
・保育所の紙おむつについて、新たに定額が必要な分を使えるサブスクリプション

サービスを導入する。月額利用料2500円のうち、1000円の自己負担で利用できる。サービスの利用をしない場合は1500円を支援する。

458万円  
・昨年4月にリニューアルオープンした中央公園に新たな遊具を設置することで、さらなるにぎわいを創出する。 706万円

#### (2) 健康寿命の延伸による 「自然減の抑制」

・小学校やスーパーで野菜の摂取量測定器を利用した野菜摂取見える化事業を展開し、子どもから大人まで幅広い世代に野菜摂取による減塩習慣の定着を促す。22万円  
・コロナ禍で活動が縮小傾向にある老人クラブに対する支援を拡充し、アフターコロナを意識した高齢者の社会参加や生きがいの充実を促す。 368万円  
・県内市町村が連携して行う孫とお出かけ支援事業に参加し、世代間交流や高齢者の外出機会を促進する。 7万円

(3) ーターンやUターンの促進と  
地域活性化による「社会増」

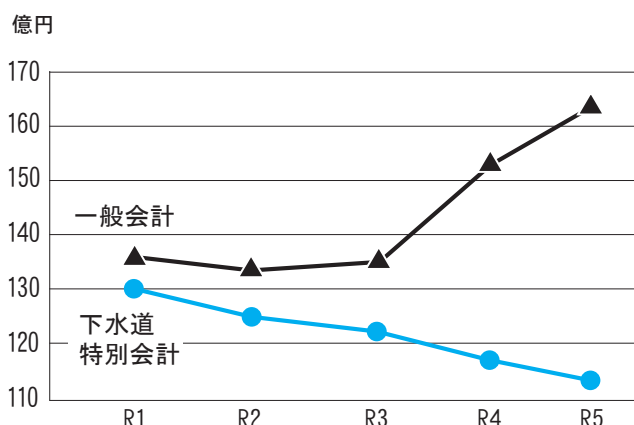
- ・町外者や賃貸物件に居住している町民が、町内で住宅を新築・取得する場合に、新たに住宅支援金を創設し、町への移住・定住を後押しする。 2058万円
- ・東京圏からの移住者が、県マッチングサイト登録企業に就職または自ら起業した場合に交付する就業支援金に子育て加算する。 260万円

その他の主な予算

- ・役場新庁舎の整備に係る建設工事費等を計上する。 27億2707万円
- ・西入善駅前を利便性の高い拠点施設とするため、駅周辺を整備する。 579万円
- ・サーモンの陸上養殖を目指すアトランド(株)の企業用地を整備する。 5億9010万円
- ・部活動を安定的に運営するため、各中学校に配置している部活動指導員を増員する。 297万円
- ・子どもを望む新婚夫婦を対象に、健診費用の一部を助成する。 30万円
- ・カナヤママシナリー(株)に対し、企業立地奨励助成を行う。 1億300万円

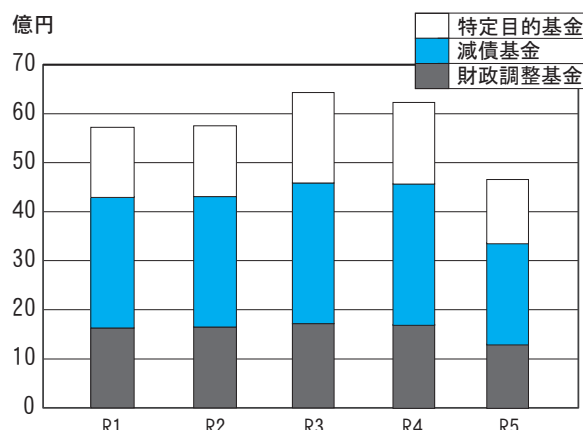
◎町の貯金と借入金

一般会計と下水道会計の借入金残高



借入金残高・基金残高ともに令和4年度、5年度は見込額

一般会計の基金(貯金)残高



財政調整基金：将来への財源不足を補うための貯金  
減債基金：借入金の償還に充てるための貯金  
特定目的基金：特定事業のための貯金

陳情

・「最低賃金の引上げ及び中小企業への支援拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

陳情者 富山県労働組合総連合

議長 中山 洋一

不採択とする

・食糧危機、飼料・肥料・資材高騰から農業経営を守り、継続させるための緊急支援を求める陳情書

陳情者 農民運動富山県連合会

会長 林 新義

不採択とする

議員提出議案

・入善町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

賛成全員で可決

・最低賃金のさらなる引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書

賛成全員で可決

# 討論

令和5年度一般会計について

反対討論 井田 義孝 議員

3～4月に値上げされる食品や飲料は約8千品目になる。肥料、飼料も3割高くなっているのに、町の予算案には物価高騰への対策が補正予算のプレミアム商品券のみだ。国の補正予算を待つのではなく、町が積極的に農家や漁業者、事業者へ支援をしていくべきだ。

特別な支援が必要な児童・生徒と保護者への抜本的な支援対策も盛り込まれていない。

学童保育の利用料を一気に1.5倍～2倍、夏休みは3倍、4倍にするのはあまりに乱暴だ。指導員の待遇改善の財源は、保護者に求めず町が独自に予算化すべき。

賛成討論 田中 伸一 議員

「ストップ人口減少！さらなる深化―輝く未来への投資予算」として令和5年度一般会計予算は136億7020万円と過去にない大型の予算が編成された。

今後のストップ人口減少の実現にむけて、施策の柱Ⅰでは、結婚活動支援から育児・子育てまでの62事業、施策の柱Ⅱでは、健康寿命の延伸策48事業、施策の柱Ⅲでは、イターン・Uターンの促進や地域の活性化事業として38事業に取組むことは重要なことだ。

特に、町内での企業進出の新規事業として、用地整備に5億9千万円が計上された。これは、町

長の今までの弛まぬ努力の結果であると大いに評価する。

その一方で、昨今の国内外の社会環境の激変によって、事業の進捗遅れや予算への影響が懸念される。当局には、十分な配慮と慎重な見極めのもとに、事業の着手に努めていただきたい。

賛成討論 中瀬 淳哉 議員

新年度予算は過去最大となる大型予算となった。ハード整備の予算が多いが、常に有利な財源の確保に努めている当局の手腕を評価したい。

民生費や教育費は国や県の財源が付きにくい事業が多いが、一般財源をつぎ込み、事業を行おうとする当局の姿勢を高く評価したい。

当局には着実な執行を求めると共に、町内外から選ばれるまちとなるよう、さらに知恵を絞ってもらいたい。

## 条例の制定及び一部改正

次の条例案を審議し、賛成全員で可決した。

・入善町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

・入善町個人情報保護に関する法律施行条例の制定

・入善町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正

・入善町国民健康保険条例の一部改正

・入善町国民健康保険税条例の一部改正

・入善町重度心身障害者等医療費助成条例の一部改正

・入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- ・入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・入善町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

## 専決処分

議会の議決を経た工事契約に係る契約金の増減について専決処分した

○入善海洋深層水取水施設建築主体工事  
請負者 株式会社米澤製材所  
変更後金額 378万円増額し

○桃李統合保育所（仮称）整備事業  
6284万円

・給排水衛生設備工事  
請負者 花田配管  
変更後金額 31万円増額し

5417万円

・電気設備工事

請負者 有限会社長島電気工事

変更後金額 107万円増額し

5510万円

・空調設備工事

請負者 有限会社上田管工事工業所

変更後金額 129万円減額し

4584万円

## 工事契約と工事変更を議決

予定価格が5000万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

### ○旧西部保育所解体工事請負契約

請負者 吉原建設株式会社  
請負金額 6039万円

### ○桃李統合保育所（仮称）整備事業建築主体工事請負契約

請負者 廣川建設工業株式会社  
変更後金額 3371万円増額し

5億1331万円



建設中の保育所

## 入善町副町長の選任

3月31日で任期満了となる副町長に、新たに竹島秀浩氏を選任することに同意した。

（任期は4年）



竹島 秀浩氏  
（入膳）

## 下山水組合議会議員の選挙

3月31日で任期満了となる下山水組合議会議員を選挙した結果、次の6名が当選した。

（任期は4年）

袖野 伸司 氏（墓ノ木）  
稲村 睦夫 氏（下山）  
鍋嶋 孝則 氏（下山）  
西島 健太朗 氏（小杉）  
吉原 有二 氏（藤原）  
広川 雅伸 氏（古黒部）

## 新川地域消防組合議会議員の選挙

辞職により1名欠員が生じたため、新川地域消防組合議会議員を選挙した結果、次の1名が当選した。

鍵田 昭 氏（東狐）

## 用地の売却について

令和4年9月に町が取得した工場用地の造成工事が完了したことから、シロウマサイエンス（株）と土地売買契約を締結し、用地を売却する。

### ○シロウマサイエンス（株）駐車場用地

売却用地 青木1477番1 外7筆  
面積 9445㎡  
請負金額 9098万円

## 令和4年度

### 3月補正予算を可決

#### 【一般会計】

2億9972万円を増額し、  
総額129億5695万円とする。

#### ◎一般会計の主な事業

- 海洋深層水取水施設等整備事業費  
国補正予算に伴う海洋深層水取水施設整備に係る事業費を計上する。 2億5019万円
- 学校施設維持管理費  
入善・入善西中学校の給食室空調設備設置工事費、暖房燃料費の増額を計上する。 3394万円
- 保育所整備事業費  
桃李統合保育所（仮称）整備に係る工事費を増額する。 3010万円

#### ○地域経済等支援事業費

プレミアム率20%のプレミアム商品券発行に係る事業費を計上する。 2250万円

#### ○新型コロナウイルスワクチン接種事業費

国が特例臨時接種として全額公費による実施期間を令和6年3月31日まで延長するため繰越す。

繰越明許費 8880万円とする

#### 【特別会計】

- ・国民健康保険特別会計 4654万円を増額
- ・下水道特別会計

繰越明許費 1683万円とする

#### ・後期高齢者医療特別会計

2894万円を増額

# レポート

## 総務 常任委員会

部活動指導員を7名から8名に増員

Q 中学校の部活動指導員の配置状況は。

A 現在、入中に3名、西中に4名を配置してきた。

新年度より、入中のバトミントン部に1名を配置し、計8名体制とする。

Q 部活動指導員の資格要件はあるのか。

A 一般の方で指導種目の経験者や、先生などに要請し就任されている。

ふるさと納税は330万円の増額を目指す

Q 町のふるさと納税額は県内の下位に低迷しているが、新年度の目標は。

A 前年度比で330万円の増額を目標に、

新たにふるさと納税にアクセスできる民間サイト2件と提携した。また、返礼品においても工夫しながら品目を増やしていきたい。

Q 町民による他市町村へのふるさと納税状況はどうか。

A 当町の令和3年度での寄付受け入れ額は約1900万円だ。また、町民の277名がふるさと納税の制度を利用してしている。

今後は、サクラマスやサーモンなど魅力的な地域商品を返礼品に加えていきたい。

電子回覧板普及に新規で5地区を予算化

Q 電子回覧板の普及状況はどうか。

A 現在のところ青木地区430世帯と入膳の上田地区30世帯で活用されている。

町からの情報発信として有効な手段であるので、高齢者にも使えるように個別指導や広報活動を通して

じて電子回覧板の普及に努めたい。

新年度は新規で5地区250世帯での導入を目指したい。

合併70周年記念事業式典は10月1日に

Q 合併70周年記念事業の内容と式典実施日は。

A 記念事業として「入善乙女キクザクラ」の植樹やNHKのラジオ公開番組を行う。その他、70周年記念町政バスの運行やコスモホールでの記念演奏会、町民参加フォトコンテスト、ジャンボール学習帳の発行事業、下山発電所美術館記念企画展などを計画している。

また、記念式典は10月1日を予定している。

マイナンバーカード申請率は

Q マイナンバーカードの申請率と交付率はどうか。

A 当町では2月末現在、

申請率が75・0%で交付率は68・6%だ。

ちなみに全国の交付率は63・5%富山県は65・9%となっている。今後、啓発活動を続け100%に近づけていきたい。

令和6年秋頃には保険証との一体化が始まるので、それまでに取得希望者には交付していきたい。幼児への対応として、顔写真の省略や簡略化などを検討している。

健康麻雀大会に32名の参加者

Q 3月17日にサンウェルで行われた第1回健康麻雀大会の様子はどうか。



第1回健康麻雀大会

A 高齢者の交流や健康増進、脳トレを目的として企画した。概ね60歳以上を対象に、男女32名の参加があり、見学者も多く盛会であった。

減塩の成果は長期間の取組みが必要

Q 各種減塩運動の成果が見えづらい。評価はどうか。

A 長寿県の長野県を参考に今後の町民の長寿を願い取組んでいる。短期間では結果は出ないが、長期的観点で評価していただきたい。

# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

人材マッチングフェアについて

Q 年間2回継続的に  
行っているが、これま  
での採用実績と今後の課  
題は。

A 平成26年度から開催  
しており、採用実績  
は累計で101名だ。企  
業側では積極的に求人を行  
っているものの最近では  
求職者が少なくなっており、  
求職者の掘り起こし  
などが課題だ。

デマンド交通ウチマ  
エくんについて

Q ウチマエくんの利用  
に年齢制限はあるの  
か。また、子どもたちの  
利用促進などできないか。

A 年齢による制限はな  
い。子どもたちを塾  
などに送るための利用に  
ついては、営業時間内

近くのバス停までであ  
れば利用することは可能だ。

漁業経営構造改善事  
業費補助金について

Q 漁業経営構造改善事  
業費補助金530万  
円の内容は。

A 黒部川内水面漁業協  
同組合が行うサクラ  
マス種苗生産の施設整備  
に支援するものだ。

海外市場へ輸出拡大  
の足掛かりに

Q とやま輸出拡大活動  
支援事業75万円の内  
容は。

A 県と町が連携して、  
農林水産物等の輸出  
に積極的に取組む生産者・  
事業者を支援するトラ  
イアル型を1件分予算計上  
した。

内容は海外を対象とし  
た展示会、見本市、商談  
会への出店や海外向け商  
品開発研究、パッケージ  
改良、成分分析等の事業  
に支援する。

Q 結果が出るまで年数

がかかると思うが、単年  
度しか利用できないのか。

A トライアル型は通算  
2回利用ができ、そ  
の後、発展型といった支  
援がある。

教員の業務支援を行  
う職員の状況は

Q スクールサポートス  
タッフの配置状況は  
どうか。

A 平成30年度より配置  
され、令和2年度か  
らは新型コロナウイルス  
対応として、町内の各小  
中学校に1名ずつの計8  
名が配置された。

令和5年度については、  
コロナ対応の業務が縮小  
していることから、中学  
校は各1名、小学校は2  
校に1名として、全5名  
の配置となる。

具体的な業務は、教材  
の印刷や物品の準備、小  
テスト等の採点補助、各  
種データ入力、学校行事  
の準備補助などを担当し  
ている。

部活動の地域移行に  
ついて

Q 教員の働き方改革に  
伴い、部活動の地域  
移行をどのように行うの  
か。

A 土日の部活動を学校  
の活動から切り離し、  
地域クラブなどが主体と  
なっていく学校外の活動  
に移行するもの。

町では、令和5年度で  
保護者への説明会の実施  
や関係団体との意見交換  
などを行い、地域移行の  
方向性を探ることとして  
いる。

Uターン促進奨学金  
制度について

Q Uターン促進奨学金  
制度の要件(内容)  
と将来像は。

A 大学卒業後、入善町  
に居住して就職した  
場合、貸与した額の半額  
を減免する制度である。  
4年制大学の場合、24  
0万円の貸与に対して  
120万円が減免される。  
平成28年の制度創設以

来、23人の学生が貸与の  
対象となり、うち11名が  
減免された。

用水路の老朽化対策  
は

Q 農業用排水路が整備  
されて50年、老朽化  
が進み農作業に悪影響が  
出ている。今後どのよう  
な対策を取るのか。

A 県営農地整備事業で  
計画的に進めていき  
たい。あわせて、町の負  
担金の軽減について国と  
県に要望していく。



町内の用水路

### 3月定例会の議決状況

		鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	本田 均	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
承認第1号	令和4年度入善町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	令和4年度入善町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	旧西部保育所解体工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	桃李統合保育所(仮称)整備事業 建築主体工事変更契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和5年度入善町一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第4号	令和5年度入善町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第5号	令和5年度入善町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和5年度入善町育英奨学資金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和5年度入善町下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和5年度入善町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和4年度入善町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和4年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和4年度入善町下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和4年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	入善町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	入善町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	入善町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	入善町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第18号	入善町重度心身障害者等医療費助成条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	入善町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	町道路線の認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	黒部市と入善町との間における下水の処理の事務委託の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	「最低賃金の引上げ及び中小企業への支援拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×
令和4年陳情第2号	食糧危機、飼料・肥料・資材高騰から農業経営を守り、継続させるための緊急支援を求める陳情書	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×
議案第25号	令和4年度入善町一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	企業立地用地の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第1号	入善町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	入善町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	最低賃金のさらなる引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第1号	新川地域消防組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第2号	下山用水組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対、欠：欠席



新電力会社へ出資し設立を目指すのか  
キラキラ商工  
観光課長  
新電力会社設立及び出資は見送る



洋上風力発電建設中のSEP船

**問** 令和4年度に予定されていた新電力会社へ出資する案件は、現在どうなっているのか。

田中キラキラ商工観光課長

新電力会社への出資については、入善町で発電された再生可能エネルギー由来の電力の地産地消を目的として、新たに設立される民間事業者の新電力会社に出資するため、今年度の予算に計上した。

本町の洋上風力発電施設で発電した電力は、固定価格買取制度、いわゆるFITとして北陸電力へ売電する計画であった。その後、地域新電力会社が北陸電力から特定卸供給を受けることで、洋上風力で発電された電力を地産地消することが目的であった。しかしながら国際情勢



本田均 議員（会派 アクト）

の不安定化などにより現在、エネルギー調達価格の大幅な上昇による影響で採算性の面などから、現段階では新電力会社の設立は大変厳しい。

当面、新電力会社の設立と出資については見送らざるを得ない状況だ。

**町内中小企業の賃上げ動向はどうか**  
全体で一人当たり賃金が  
昨年比3・5%の増

**問** 生活をしていく上で重要な役割を果たす町内中小企業の賃上げ動向はどうか。

**田中課長** 町の中小企業に限った動向は把握してはいないが、町税務課に

において、従業員数の多い主要企業10数社に対し、昨年11月に令和4年度中の賃金支払額の調査を行った。

この調査で、賃金が増加したと回答した企業が8割、減少したと回答した企業が2割となり、全体では一人当たり賃金が前年比3・5%の増という調査結果がでている。

**庁舎整備において再生可能エネルギー活用は環境負荷低減・省エネを推進**

**問** 新庁舎での再生可能エネルギーの活用計画は。

**真岩総務課長** 庁舎整備において「太陽光発電・蓄電システム」や「冷温

水式床放射冷暖房システム」の導入を予定している。

得られた電力は、売電を行わず通常業務への利用や災害時対応に備え、すべて自家消費する。新庁舎で使用する年間電力量の3〜4割程度を賄うことができるものと考えている。

環境負荷低減・省エネルギー化への取組みとして、特殊複層ガラスの採用による日射・外気温の負荷抑制に加え、庁用車に係る今後の電気自動車への買い替え対応として、EV充電用コンセントの設置や電力容量の確保などを予定している。



桜に映える浦山新発電所

## 小水力発電で

「電気料金のかからない町」を目指せ

副町長

自治体が取組むエネルギー施策の理想形とも言えるが課題が多く困難だ



佐藤 一仁 議員（会派 自民清流会）

**問** 4月から電気料が値上げされる。未来のまちづくりには、扇状地の恵みである「水」を利用した小水力発電で、「電気料

金のかからない町入善」を目指してはどうか。

**梅津副町長** ウクライナ紛争の影響で、北陸電力などの大幅な料金値上げが予定されている。

豊富な「水」を利用した小水力発電を整備して、電力の地産地消を促進することは、大変有意義で夢が有り、自治体のエネルギー施策の理想形とも言える。「電気料金のかからない町」のインパクトは、町のPRやイメージアップ、移住・定住の促進にも大きな効果をもたらすと考えられるが、町全域を賄うとなれば、整備のための莫大な費用やその

財源確保、維持管理や送配電などの課題も多く、困難な状況だ。

町の子育て事業に国補助を求めている

国・県に積極的に働きかけるので力添えも

**問** 令和5年度の予算案では「ストップ人口減少」の子育て支援事業の多くが、国や県の補助がない町単独の事業費で賄われている。

国が取組む「異次元」の少子化対策において、補助対象となるよう、国に働きかけるべきではないか。

**笹島町長** 令和5年度予算案では、引き続き「ス

トップ人口減少」の実現を目指し、町内外のあらゆる世代から「選択されるまち」となるよう、未来への布石となる事業に重点配分した。

問題克服には「出生数の増加」が不可欠であり、最優先の重要課題だ。このようなことから、予算には、町の一般財源を充当した独自の子育て支援策を数多く盛り込んだ。

財源確保や社会環境整備に、国・県に積極的に働きかける。議員各位の力添えがあれば心強い。

**黒部宇奈月キャニオンルートで観光振興を**  
新川の魅力をアピールして町への誘客を図る

**問** 来年に一般開放される、黒部宇奈月キャ

ニオンルート利用客の1000人以上を、町内の宿泊施設へ誘客して、観光業を支援するべきだ。

**田中キラキラ商工観光課長**  
来年1月から旅行商品として販売され、6月から運行予定だ。最大で年間1万人の観光客が期待できる。

この開業により、黒部ダムやアルペンルートと新川エリアが直接結び、県内で周遊できるようになり、県全体にとってもメリットが大きい。

「新川地域観光開発協議会」等で、新川地域が一体となって魅力を発信する。黒部ルート一般開放は、宿泊することが前提となった商品だ。

物価高騰へ  
町独自に農家や漁業者、事業者に継続的支援を  
町長 状況を精査しながら補正予算で  
対策を講じる



マイナンバーカード

**問** 飲食品の3〜4月の値上げは8千品目近い。電気、ガス、燃料も3〜7割高、農業の肥料や飼料なども3〜5割高だ。町の予算案にはプレ

ミアム商品券以外に物価高騰対策が見られない。国の補正予算を待つのではなく、町独自に農家や漁業者、事業者への支援を継続して行うべきだ。

**笹島町長** 町は肥料、飼料、ハウス暖房、漁船、交通や貨物事業者の燃料などに支援してきた。また休業補償への上乗せ補助も実施してきた。今後とも状況を注視し、支援が必要であれば補正予算で対応したい。

**保育料、給食を無償化し子育て支援を**  
現制度で子育て世帯へ総合的な支援行う

**問** 現在の第1子の保育

対策を講じる

料4分の1軽減の予算は600万円余、第2子の半額化には300万円弱とのことだが、新たに年間2100万円の予算を組めば保育料は完全無償化できる。

保育料は第1子から無償とし、学校給食も無償化してはどうか。

**梅沢結婚・子育て応援課長** 第1子の無償化は考えていない。

**若林教育委員会事務局長**

現行の一月あたり2千円の給食費への支援を行うていく。

**問** 少子化の要因となっている高すぎる大学の学費に対し町の奨学金制度を拡充、発展させ、給付

型の奨学金の拡充を国に求めていくべきだ。  
**若林事務局長** 拡充の予定はない。

**マイナンバーカードは有効期限を過ぎても使えるのか**

**期限が来ると使えない**

**問** マイナンバーカードの有効期限は10年、カード内の電子証明書は5年だが、期限が切れた場合、病院にはかかれるのか。運転はできるのか。

**泉住民環境課長** 更新のお知らせが2、3カ月前に届くので早めの更新を。期限を過ぎると保険証や免許証としては使えない。更新は期限が過ぎても無料だ。

**問** 紙の保険証の代わりとなる資格確認証は、マイナ保険証より受診料が

高くなると報道されているが本当か。これまでのように郵送されるのか。

**腰本保険福祉課長** マイナ保険証読み取り装置を導入している病院で紙の保険証で受診するとマイナ保険証より初診料が6円高い。

資格確認証は現状の保険証と同様の扱いとされている。本人が申請し書面で提供される。

**成年後見人制度の取組みは**  
包括的ネットワークの構築

**問** 新年度に保険福祉課内に設けられる成年後見人制度中核機関の取組みは。

**腰本課長** 市町村計画の作成を含め、中核機関が中心となり包括的ネットワークを構築したい。



井田 義孝 議員（会派 日本共産党）



新川地域介護保険組合

介護事業者の  
安易な健康診断書の提出要求は不適切  
保険福祉課 組合が国の事務連絡を事業者へ通知



松田 俊弘 議員

**問** 新川地域介護保険組合管内では、デイサービスやショートステイなどを申し込む際に、一部の事業所から健康診断書の

提出を求められ、医療機関での診断で1万円前後の負担を強いられる事例が続いている。

平成13年の国の事務連絡では、利用者の負担軽減のために、安易に健康診断書の提出を求めるのは適切でないとしている。組合管内では事務連絡を理解していない事業所があるのではないか。  
**腰本保険福祉課長** そのような事例は今のところ町には寄せられていない。県が再度通知した事務連絡の周知・徹底をされた

**問** 県厚生部は一部の保

険者から問い合わせがあったとして、2月28日に改めて国の事務連絡を通知した。

介護事業者や医療関係者に事務連絡を周知・徹底すべきだ。  
**腰本課長** 県の文書は組合から介護事業者等に通知された。  
**問** 問い合わせた保険者は新川地域介護保険組合だと県の担当課長から聞いており、組合は国の事務連絡を知らなかった可能性がある。  
今後、事務連絡が正しく引き継がれる様に対応すべきだ。  
また最近、医療機関でも慣例的に診断書を書く

うとする事例があり、医療機関にも周知すべきだ。

**腰本課長** 医療関係者については介護保険組合などと相談していく。

**町独自でスクールカウンセラーの確保を専門性が求められ高額になるので困難**

**問** 文部科学省は、通常学級に在籍し発達障がいや特別な支援が必要な子どもは小学生で10・4%、中学生は5・6%と推計した。

県は、悩みや心配を抱える子どもや親を援助するためにスクールカウンセラーを派遣しているが、町内の中学校では月に8時間、小学校では4時間程度で不十分だ。  
名古屋市では、全ての中学校110校に常勤の

スクールカウンセラーを配置している。町も独自に常勤のスクールカウンセラーを確保すべきだ。  
**小川教育長** 臨床心理に長けた専門的な知識・経験を必要とし、大変高額の費用を要するので町独自で確保することは困難だ。

**問** 以前に教育長自身が、スクールカウンセラーが不足していると答えている。

私も、県に増員を要望してきたが、県は国の予算措置を待つのみで独自に増やそうとしない。だったら町で進めるしかないではないか。  
**教育長** 町では通級指導教室が小学校では10・7%、中学校では7%と他市町より拡充していると思う。

民間によるサーモン陸上養殖と周辺整備について  
キラキラ商工 3月中には農振除外申請を行い、  
観光課長 9月以降造成工事を実施予定



下飯野のサーモン養殖予定地

**問** 町内では海洋深層水を利用した新たな計画が策定されているが、用地買収計画は順調に進んでいるのか。

**笹島町長** サーモン養殖用地買収に関して、昨年6月に地権者への説明会、7月には地元住民説明会を開催し、事業に対する理解を得たことに加え、農振除外等の法的手続きや用地買収についても、ご理解をいただいたものと考えている。

今月中には農振除外申請を行い、9月に農地転用の許可となることから、それにあわせて、用地取得契約を行った後に、敷地の造成工事を実施する計画だ。

**問** 水質調査・地盤調査は進んでいるのか。

**町長** 説明会の際にも、町からは地下水位の状態について説明した。事業開始後も地下水位などの状況を注視しながら、万が一問題が生じた場合には、事業者とともに対応していく。

**問** 表土を地盤改良などで対処してはどうか。

**町長** 現在、事業者と盛土についても協議しているが、造成費用が安く済むというメリットもあることから、表土の活用の可能性について、一つの

**問** 現在、福祉施設の経営危機

**腰本課長** 令和5年度の予算において、町民への訪問入浴サービスの安定的な確保を目的に、滑川市から入善町までの移動時間に要する経費に対して、補助金を新規事業として計上した。

**高源課長** 高架化については、様々な課題や問題点があることから、すぐに実施できないが、今後の周辺施設の開発に伴う交通状況の変化を勘案しながら、事業実施に向けた検証をしていきたい。

**高源建設課長** 最も状態の良い「健全」に区分され、「道路橋の機能に支障が生じていない状態」であると聞いている。

**腰本課長** 町では、原油価格等高騰対策の補助金により対応している。

**問** 現在、福祉施設の経営危機

**腰本課長** 全国の介護事業者や障害児向けサービス事業所の倒産件数が、昨年過去最多となった。



鍵田 昭 議員



部活動の野球の試合

# 部活動の地域移行はどこまでを目標とするのか

## 教育長 実情に応じて段階的に進めていかなければならない



中瀬 淳哉 議員

**問** 部活動の地域移行には学校部活動の地域連携や合同部活動、地域クラブ活動への移行の方法があるが、当町ではどこま

でを目標とするのか。

**小川教育長** 町は国の方針に従って画一的に押し進めるのではなく、実情に応じて段階的に進めていかなければならないと考えている。

その前段として、現行の部活動の現状維持という問題についても取組むことが必要である。

現在の町の部活動の状況は入善中学校、入善西中学校において17種目の部が活動を行っている。

しかし、部員数の減少で来年度の新入部員の状況によっては、単独での活動が難しくなるような部活動も数種目ある。町としては学校とも協

議しながら、単独での活動が困難となるような部活動に対しては、合同部活動の体制をとるなど、状況に応じた対応を随時行っていく。

この取組みと合わせ、地域移行を進めていくためには生徒や保護者の理解はもとより、学校や関係団体との協議が必要であり、受け皿の候補となりうる各種団体との協議が必要不可欠である。

現段階では、この受け皿となる団体がどのようなものか決まっていらないが、今後様々な協議を進めながら地域移行の形態などについて固めていき

### 入善町ポイントアプリ導入の検討を模索していきたい

**問** 入善町ポイントアプリ導入を検討すべきだ。

**竹島企画財政課長** 全住民参加型による共通の自治体ポイントアプリの導入は、デジタル化を通して住民がまちづくりに参加しやすくなるきっかけにもなり、まちづくりの機運が高まる有効な手段になると考えている。

さらに、電子地域通貨としての運用も期待され、地域での買い物にポイントを利用できるなどの拡張性も持ち合わせており、まちづくりと地域経済の両面を活性化させるものと思われる。ポイントアプリの導入は、費用対効果の検証や

他自治体の優良事例なども調査しながら、住民の積極的なまちづくりへの参加につながる施策を模索していきたい。

**問** LINE公式アプリを行政情報の発信機能強化や証明書発行等のオンライン化だけでなく、ウチマエくんの予約など、町民が便利だと思わせる機能を加えてはどうか。

**竹島課長** 令和5年度にLINE公式アカウントを開設する。

ウチマエくんの予約機能をLINEにのこのことだが、既存のデマンド交通予約システムとの連携が必須であり、独自開発には多額な費用が見込まれる。また、利用者の大多数を高齢者が占めていることも考慮し、調査・研究していく必要がある。

## 事業紹介

# 令和5年度の子育て支援事業

入善町の小中学生を対象とした子育て支援事業等を紹介する。

### ○小中学校入学祝い金

#### 支援事業

小学1年生、中学1年生になる児童・生徒の保護者に商品券（児童・生徒1人につき1万円）を支給する。

309万円



### ○小中学校体操服・制服等

#### 購入支援事業

小学1年生、中学1年生の体操服と制服購入に1万円を支援する。

310万円

### ○学校給食費補助金

学校給食費に対して児童・生徒1人につき2千円を補助する。

2857万円

### ○小中学校就学援助事業

新入学の児童生徒に学用品費を入学前に支給する。

1203万円

### ○乳児・幼児・児童・高校生等医療費助成事業

乳児から高校3年生まで医療費を全額助成する。（所得制限なし）

6187万円

### ○小児インフルエンザ予防ワクチン接種費用助成事業

高校卒業時まで予防接種費用を助成する。1回2千円。

585万円

### ○児童手当支援事業

一人当たり3歳未満月額1万5千円、3歳以上小学校終了前は月額1万円（第3子以降1万5千円）、中学生には1万円を支給する。

2億5235万円

### ○ひとり親家庭等子育て

#### 支援事業

児童扶養手当支給対象者の保護者へ商品券1万円を支援する。

338万円

### ○学童保育運営事業

小学校6年生までの児童に対して学童保育を実施する。

5663万円

## 令和5年度

### 小中学生に関連する事業

入善町の小中学生を対象とした学力向上と健康支援事業等を紹介する。

### ○入善産「富富富」

#### 米飯給食事業

町内小中学校で月1回、入善産「富富富」を使用した米飯給食を実施する。

15万円

### ○食育推進事業

地元関連企業の「ふりかけ」を学校給食で提供する。

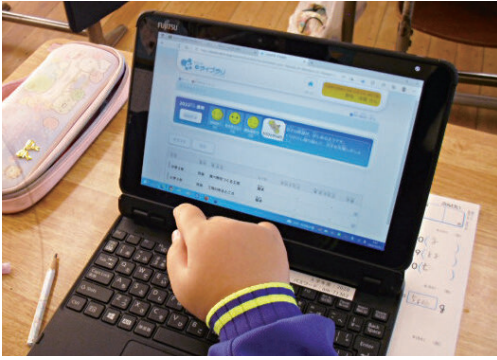
14万円

○にゅうぜん!!元気キッズ  
まるごと健康応援プロジェクト

免疫力を高めるとされる乳酸菌飲料を、保育所・小中学校にて2カ月程度（うち1カ月はアサヒ飲料(株)提供）定期飲用する。

615万円





○外国語指導助手配置事業  
英語授業の拡大に対応するため、引き続きALTを3名体制で配置する。  
1558万円

○特別支援「スタディメイト」派遣事業  
スタディメイトを小中学校に週5日間派遣する。  
小学校 各校1〜3名  
中学校 各校1名 体制  
1044万円

○小学校小規模特認校  
通学支援事業  
小規模特認校であるひばり野小学校に、通学区域外から通学する児童の保護者に月額1万円を支援する。  
24万円

○学習者用端末活用事業  
一人1台のタブレット端末を運用することでICT教育を推進する。  
649万円

○ICT教育推進事業  
ICT支援員を配置する。(各小中学校 月4回)  
AIDリル(小中学校)とロイロノート(小学校)を活用する。  
1625万円

○部活動指導員配置事業  
部活動を安定的に運営するために、部活動指導員を今年度は8人配置する。  
297万円

○にゅうぜん郷土愛醸成事業  
小学生などに現地学習を通して町の自然や歴史、文化、産業などを知る学習機会を創出する。  
53万円

○未来の子ども育成プロジェクト  
井田博氏の寄付金を活用し、小学生を対象にした合同講演会を開催する。  
194万円

○夢見る子ども創造事業  
泉英明氏の寄付金を活用し、中学生を対象にした合同講演会を開催する。  
112万円

○国際・地域間交流推進事業  
・姉妹都市アメリカ・フォレストグローブ市に中高生を派遣する。 563万円  
・中学生をカンボジアに派遣する。 332万円

・登米市に小中学生を派遣する。  
111万円



## 新たな組織構成

(令和5年3月23日より)

※変更のあった委員会などのみ掲載(変更箇所:太字)

### ☆総務常任委員会

委員長 本田 均  
副委員長 **鍵田 昭**  
委員 岡島 功  
井田 義孝  
野島 浩  
元島 正隆

### ☆議会広報編集特別委員会

委員長 五十里国明  
副委員長 **松田 俊弘**  
委員 鍵田 昭  
池原 純一  
本田 均  
**中瀬 淳哉**

### ☆交通網対策特別委員会

委員長 井田 義孝  
副委員長 **中瀬 淳哉**  
委員 岡島 功  
野島 浩  
佐藤 一仁  
松澤 孝浩

### ☆新川地域消防組合議会議員

**鍵田 昭**  
池原 純一  
野島 浩

## 編集の窓

新型コロナウイルスも随分と落ち着き、久しぶりに花見に出かけた人も多かっただろう。この状態が今後も続いていくことを願いたい。

しかし今年の桜の開花は異常に早かった。富山では平年より12日も早く、過去最早だという。春の到来を示す桜は歓迎するが、温暖化の影響が心配だ。

4月から入善町の東の海岸沿いで、洋上風力発電の設置工事が始まった。

こうした再生可能エネルギーの普及が、温暖化を抑えてくれることに期待したい。

### 議会広報編集特別委員会

議長 野島 浩  
委員長 五十里国明  
副委員長 松田 俊弘  
委員 鍵田 昭  
池原 純一  
本田 均  
中瀬 淳哉